

ふるさと教育 取組事例

学校名	松江市立湖南中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
1	総合的な学習	「地域発見」～地域について～	◇「ひと」：市職員（歴史館、観光文化課）、地域の方 ◇「もの」：松江城、歴史館、和菓子店、神社など
ねらい	「松江のよさや特徴を考えよう」という共通テーマのもと、生徒一人ひとりが課題を設定し、その課題を解決するための学習を行い、課題解決学習に必要な基本的スキルを身につける。		
<p>1 取組の概要</p> <p>① 事前学習 1…学年集会でパワーポイントを用いて松江市に関するクイズや今後の活動の説明をすることにより、フィールドワークに向けた見通しをもたせる。</p> <p>② 事前学習 2…地域講師（松江市観光文化課、松江歴史館）による「松江市出前講座」の実施。</p> <p>③ 事前学習 3…調べ学習「～松江のよさや特徴を考えよう～」(図書館資料・HPの活用)</p> <p>④ 興味のあるテーマを選択し、課題の設定や校外学習の計画を立てる。 (松江城、神話・神社、小泉八雲、宍道湖・自然、松江の食文化、観光、松江の産業など)</p> <p>⑤ 校外学習（フィールドワーク）において、グループごとに体験的な学習を行い、それぞれに携わっている人に直接、話を聞くことを通して学びを深める。</p> <p>⑥ まとめ（個人レポート、学級発表） ・個人レポートを作成し、学級でグループ毎に発表を行う。 ・調べたことや学んだことをA4レポート用紙にまとめ、学級掲示による発表をする。 →わかりやすく伝える工夫をする（レイアウト、写真、イラスト等）</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。 (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から) ふるさと松江についての関心を高め、地域の一員として考える力をつけるために、市観光文化課や松江歴史館の職員の方々から「ふるさと松江」の歴史、観光、文化やそれに関する現在の取り組みなどについて講演をしていただいた。初めて知る郷土のすばらしさや人々が積みあげてきたことがらを知ることで、新たな発見とあらためて興味を持って考える機会とすることができた。</p> <p>(学力育成の視点から) 実際に市内各地を訪問して見学や体験することを通して、目的に応じた情報を把握してまとめる力をつけるとともに、インタビュー活動を通してコミュニケーション能力の育成をすることができた。</p> <p>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等） (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から) ふるさとの良さを再発見するとともに、地域の人々の尽力に気づくことができた。</p> <p>(学力育成の視点から) 学習のテーマや内容を自ら決定することで、課題解決をする力を培った。また、地域の人や班の仲間と関わる力をつけた。</p> <p>4 課題や今後の展望 校外学習時の天候や時間、経費などの条件について、学習しやすい設定を考慮する。</p>			

